

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アサヒペン
 コード番号 4623 URL <http://www.asahipen.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 猛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西 龍夫
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6930-5018

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	8,116	△10.9	376	△8.0	315	△11.1	149	△55.8
22年3月期第2四半期	9,109	2.5	408	89.6	354	129.8	338	183.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.22	—
22年3月期第2四半期	7.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	19,313	10,413	53.9	223.55
22年3月期	19,622	10,506	53.5	225.55

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 10,413百万円 22年3月期 10,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	5.50	5.50
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.50	5.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	△4.9	550	△3.7	470	△7.8	290	△23.7	6.23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 2「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 48,063,360株 22年3月期 48,063,360株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,483,262株 22年3月期 1,480,098株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 46,581,964株 22年3月期2Q 46,591,126株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の連結業績予想については、平成22年10月28日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や景気刺激策による押し上げ効果等により回復の兆しがみられましたが、後半は円高の進行の影響で先行きの不透明感が急速に強まりました。当社グループを取り巻く環境においても、長引く消費の低迷や価格競争の激化に加え、異常気象の影響も重なり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品の投入、販路の拡大、テレビコマーシャル等の販促など、積極的な営業活動を展開いたしました。

しかしながら、記録的な猛暑日の長期化で、「遮熱塗料」、「遮熱シート」などの遮熱関連商品は好評を博したものの、天候不順の影響などもあり全体の売上は伸び悩み、当第2四半期連結累計期間の売上高は、81億1千6百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

収益面では、グループ企業一体となって経営の効率化に努めましたが、売上減少の影響により、営業利益は3億7千6百万円（前年同期比8.0%減）、経常利益は3億1千5百万円（前年同期比11.1%減）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を特別損失に計上したため、1億4千9百万円（前年同期比55.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億9百万円減少し、193億1千3百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べて2億1千5百万円減少し、89億円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べて9千3百万円減少し、104億1千3百万円となり、自己資本比率は53.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は53億8千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億9千8百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は2億7千1百万円の収入（前年同期比56.3%減）となりました。これは主に、売上債権の増加額5億8千4百万円等の減少要因に対して、税金等調整前四半期純利益1億7千5百万円、減価償却費1億9百万円及びたな卸資産の減少額5億9千1百万円等の増加要因があったことによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億7千1百万円の支出（前年同期比500.3%増）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出1億1百万円及び有形固定資産の取得による支出6千5百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億7千5百万円の支出（前年同期比17.9%増）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出2億2千万円及び配当金の支払2億5千5百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については、平成22年10月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益が20千円、経常利益が644千円、税金等調整前四半期純利益が68,668千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は86,637千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,381,779	5,779,806
受取手形及び売掛金	3,913,357	3,331,223
有価証券	101,001	—
商品及び製品	2,402,638	2,954,069
仕掛品	28,975	32,022
原材料及び貯蔵品	256,769	294,053
その他	212,944	220,726
貸倒引当金	△84,735	△72,070
流動資産合計	12,212,730	12,539,832
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,588,270	3,588,278
その他(純額)	1,851,331	1,799,775
有形固定資産合計	5,439,601	5,388,054
無形固定資産		
投資その他の資産	207,890	189,128
固定資産合計	1,453,158	1,505,838
資産合計	7,100,650	7,083,020
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,264,606	1,385,258
短期借入金	2,530,000	2,750,000
未払法人税等	38,634	50,009
引当金	100,356	103,860
その他	568,943	595,126
流動負債合計	4,502,540	4,884,255
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	900,000	900,000
退職給付引当金	873,047	867,828
役員退職慰労引当金	127,131	127,336
資産除去債務	86,637	—
その他	411,017	336,577
固定負債合計	4,397,834	4,231,742
負債合計	8,900,374	9,115,998

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,869,017	5,869,017
資本剰余金	4,442,802	4,442,866
利益剰余金	498,242	604,660
自己株式	△234,442	△234,087
株主資本合計	10,575,619	10,682,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△162,613	△175,602
評価・換算差額等合計	△162,613	△175,602
純資産合計	10,413,006	10,506,854
負債純資産合計	19,313,381	19,622,853

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	9,109,272	8,116,974
売上原価	6,142,241	5,354,861
売上総利益	2,967,031	2,762,112
販売費及び一般管理費	2,558,271	2,386,111
営業利益	408,759	376,001
営業外収益		
受取利息	29,910	27,305
受取配当金	7,580	8,541
受取地代家賃	137,026	136,312
その他	28,953	12,026
営業外収益合計	203,470	184,186
営業外費用		
支払利息	38,609	34,182
支払地代家賃及び減価償却費	156,459	155,933
たな卸資産除却損	6,624	—
その他	55,914	54,668
営業外費用合計	257,607	244,785
経常利益	354,622	315,403
特別損失		
投資有価証券評価損	—	71,597
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,023
特別損失合計	—	139,621
税金等調整前四半期純利益	354,622	175,781
法人税、住民税及び事業税	12,466	17,674
法人税等調整額	3,478	8,316
法人税等合計	15,944	25,991
少数株主損益調整前四半期純利益	—	149,789
四半期純利益	338,678	149,789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	354,622	175,781
減価償却費	104,680	109,940
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,478	15,445
退職給付引当金の増減額(△は減少)	76,994	5,219
固定資産処分損益(△は益)	393	△1,484
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,023
投資有価証券評価損益(△は益)	—	71,597
受取利息及び受取配当金	△37,490	△35,847
支払利息	38,609	34,182
売上債権の増減額(△は増加)	△760,597	△584,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	988,956	591,762
仕入債務の増減額(△は減少)	△244,215	△120,652
未払消費税等の増減額(△は減少)	89,536	△14,544
その他	9,046	△13,230
小計	633,013	301,278
利息及び配当金の受取額	38,088	36,473
利息の支払額	△38,816	△34,379
法人税等の支払額	△12,210	△32,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	620,075	271,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△101,447
有形固定資産の取得による支出	△51,190	△65,708
有形固定資産の売却による収入	987	2,381
投資有価証券の取得による支出	△2,900	△3,048
貸付けによる支出	—	△700
貸付金の回収による収入	1,715	1,001
その他	22,839	△3,851
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,548	△171,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	60,000	△220,000
長期借入れによる収入	300,000	—
社債の発行による収入	492,608	—
社債の償還による支出	△1,000,000	—
自己株式の売却による収入	213	371
自己株式の取得による支出	△1,064	△790
配当金の支払額	△255,492	△255,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403,735	△475,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,793	△21,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	182,997	△398,027
現金及び現金同等物の期首残高	5,036,026	5,779,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,219,024	5,381,779

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	塗料事業 (千円)	住宅メンテナンス用品・日用雑貨・園芸用品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,653,061	3,456,211	9,109,272	—	9,109,272
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,153	—	12,153	(△12,153)	—
計	5,665,214	3,456,211	9,121,425	(△12,153)	9,109,272
営業利益	266,049	143,611	409,660	(△901)	408,759

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にDIY製品を取り扱っており、取り扱う製品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「塗料事業」及び「DIY用品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「塗料事業」は、家庭用塗料、工業用塗料等の塗料に関する製品・サービスを取り扱っております。「DIY用品事業」は塗料関係を除く家庭で使用される住宅メンテナンス用品、園芸用品等の製品・サービスを取り扱っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	塗料事業	DIY用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,905,975	2,978,077	7,884,052	232,921	8,116,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,450	—	5,450	—	5,450
計	4,911,425	2,978,077	7,889,502	232,921	8,122,424
セグメント利益	236,581	127,394	363,976	12,474	376,451

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	363,976
「その他」の区分の利益	12,474
セグメント間取引消去	△449
四半期連結損益計算書の営業利益	376,001

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。